

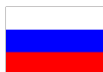
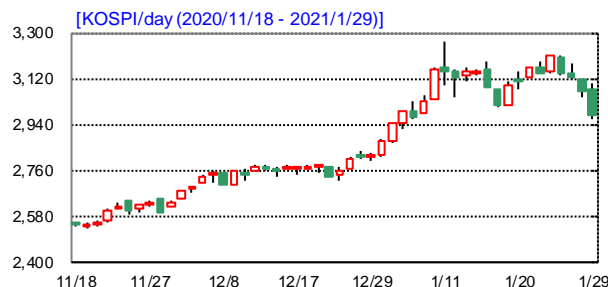


【韓国】 総合指数は 5.2%安と反落、今週は旧正月を前に持ち高調整が重しか

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で 5.2%安と大幅に反落した。米国で 1 兆 9000 億米ドルに上る大型の経済対策が早期に成立するとの期待から週明け 1 月 25 日は終値で初めて 3200 ポイントを突破し、史上最高値を更新したものの、翌日以降は総じて軟調に推移し、29 日には節目の 3000 ポイントを下回った。26 日に発表された 20 年 10-12 月期の GDP は前四半期比 1.1%増となり、伸び率は市場予想 (0.7%増) を上回ったが、米国の経済対策を巡る不透明感や中国の流動性に対する懸念が相場の重しとなった。米国で急騰していたゲームソフト小売り大手、ゲームストップの急落も投資家心理を冷やした。新型コロナの感染拡大を受けた世界景気の下振れリスクや旧正月 (ソルラル) 前の持ち高調整で今週も上値の重い展開が予想される。

▼指数チャート

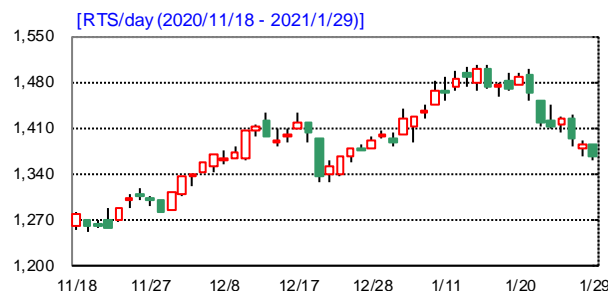


【ロシア】 RTS 指数は週間で 3.6%安と続落、今週は原油相場をにらんだ展開か

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で 3.6%安と大幅続落。欧米株安、通貨安、経済制裁懸念が重しとなった。週前半は上下にもみ合ったが、27 日は RTS 指数が 2.1%安と大幅に反落。ロシア当局による反体制派指導者アレクセイ・ナワリヌイ氏の逮捕を欧米主要国が非難し、対ロシア経済制裁が懸念されたことに加え、ルーブル安も響き、指数を押し下げた。その後も欧米株の軟調やルーブル安を背景に RTS 指数は 29 日まで 3 日続落。1367.64 ドルで引け、昨年 12 月 23 日以来の安値水準で週の取引を終えた。個別では、ノリリスク・ニッケル、ノバテック、ルクオイル、ズベルバンク・オブ・ロシアなど資源、エネルギー、金融株が大幅安となり、指数を押し下げた。今週は欧米株価、原油相場、新型コロナ感染拡大をにらんだ展開が続くか。

▼指数チャート



【ベトナム】 ベトナム指数は 9.4%安と大幅続落、今週は新型コロナの感染状況次第か

第か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で 9.4%安と大幅続落。ベトナム国内での新型コロナの感染拡大への警戒感が強まる中、利益確定売りが広がった。週明け 25 日は指数が前営業日比 0.1%安と小幅な下落にとどまったものの、26 日に 2.6%安と大幅に下落すると、欧米株安も嫌気され、27 日に 3.4%安と続落。ベトナム北部で 80 人超の新型コロナ感染者が確認され、英国型の変異種への感染が疑われる例が相次いだことで、28 日は 6.7%安と急落した。29 日は押し目買いで 3.2%高と反発したが、週間下落率は昨年 3 月以来の大きさとなった。個別ではゴム製品のベトナム・ラバー、金融のベトナム・バンク、飲料のサイゴンビール・アルコール飲料、エネルギーのペトロベトナム・ガスが 2 桁安で指数を押し下げた。今週も感染状況次第の展開か。

▼指数チャート



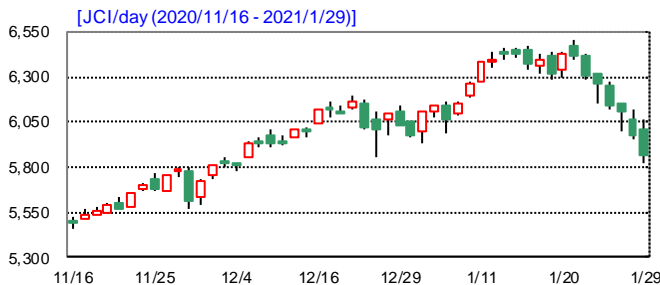


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 7.1%安、今週は 5 日に 20 年 10-12 月の GDP 発表

ジャカルタ総合指数は週間で 7.1%安と大幅続落。1 月月間では 2.0%安。先週は前週から下げ止まらず、週末まで 7 営業日続落と低迷した。週初の 25 日は新型コロナウイルスの感染者数の増加が嫌気されて売り優勢の展開。26 日は米国の追加経済対策の早期成立に対する期待感が後退し、前日比 1.9%下落した。その後も軟調な値動きが続き、28 日に終値で 6000 ポイントを割り込むと、29 日は前日比 2.0%安と約 2 カ月ぶりの安値を更新して引けている。今週は 1 日の 1 月の CPI に続き、5 日には 20 年 10-12 月期の GDP が発表される予定で、市場予想から上振れすれば、株式相場の下支え材料になりそうだ。

▼指数チャート

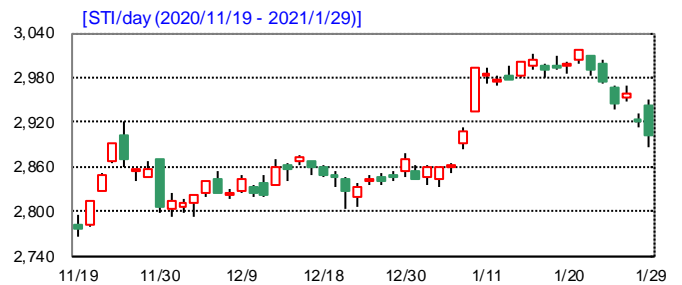


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 3.0%安、今週は 1 月の製造業 PMI に期待

ストレーツタイムズ指数は週間で 3.0%安と続落。1 月月間では 2.1%高。先週は買い材料に乏しく、じりじりと下値を広げた。週初の 25 日は、20 年 12 月本決算で赤字に転落する見通しを発表した不動産大手のキャピタランドが指数下落を主導。26 日まで 3 営業日続落した後、27 日は買い戻されたが、28 日は前日に閉会した米 FOMC 後の声明を受けて下げ幅を広げた NY ダウに連動して、前日比 1.3%安と反落した。29 日は場中に一時、2900 ポイントを割り込んだが、終値ではこの水準を回復して引けている。今週は 2 日の取引終了後に 1 月の製造業 PMI、5 日に 20 年 12 月の小売売上高が発表される予定。

▼指数チャート

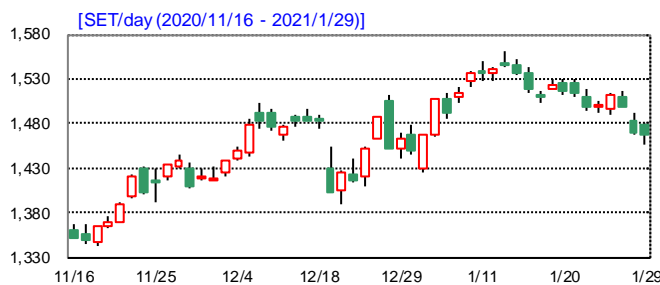


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 2.1%安、今週は 3 日に中央銀行が定例の金融政策決定会合を開催

SET 指数は週間で 2.1%安と 3 週続落。1 月月間では 1.2%高。先週は週半ば以降の下落が響いた。前半は前週の反動で買い戻され、終値で 1500 ポイントを回復したが、27 日は 20 年 12 月の鉱工業生産が前年同月比 2.4%減と市場予想を下回った影響などで、指数は前日比 1.0%安と 3 日ぶりに反落。28 日は前日の NY ダウが大幅下落した流れで、さらに 2.0%安と下値を広げると 29 日も買い材料に乏しく、3 日続落となった。今週は 3 日に中央銀行が定例の金融政策決定会合を開催するほか、5 日には 1 月の CPI が発表される予定。外部要因では、中国の 1 月の公式製造業 PMI と財新製造業 PMI が意識されそうだ。

▼指数チャート

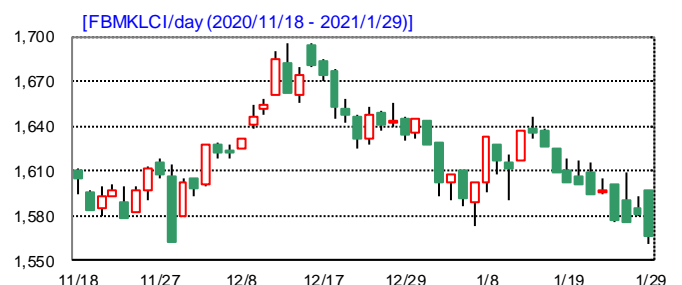


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 1.9%安、都市封鎖強化への懸念を嫌気

クアラルンプール総合指数は 4 日間の取引で 1.9%安と 3 週続落。1 月月間では 3.7%安。先週は 1 週間を通じて終値で節目の 1600 ポイントを下回った。週初の 25 日は、新型コロナウイルスの感染拡大による都市封鎖強化への懸念が広がり、指数は前営業日比 1.3%安と反落。26 日はゴム手袋メーカー株の下落が響き小幅に続落したが、27 日は 3 日ぶりに反発した。ただ、祝日を挟んだ 29 日は 20 年 12 月の輸出入額が市場予想から上振れしたものの買い材料視されず、反落して取引を終えている。今週は国内の経済イベントが少なく、外部要因が指数を左右する展開になりそうだ。1 日は連邦区記念日のため休場。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。